■ PostgreSQL セットアップ手順書

ION2 で使用するサーバー側の PostgreSQL のインストール手順とクライアント側の ODBC ドライバの設定手順です。

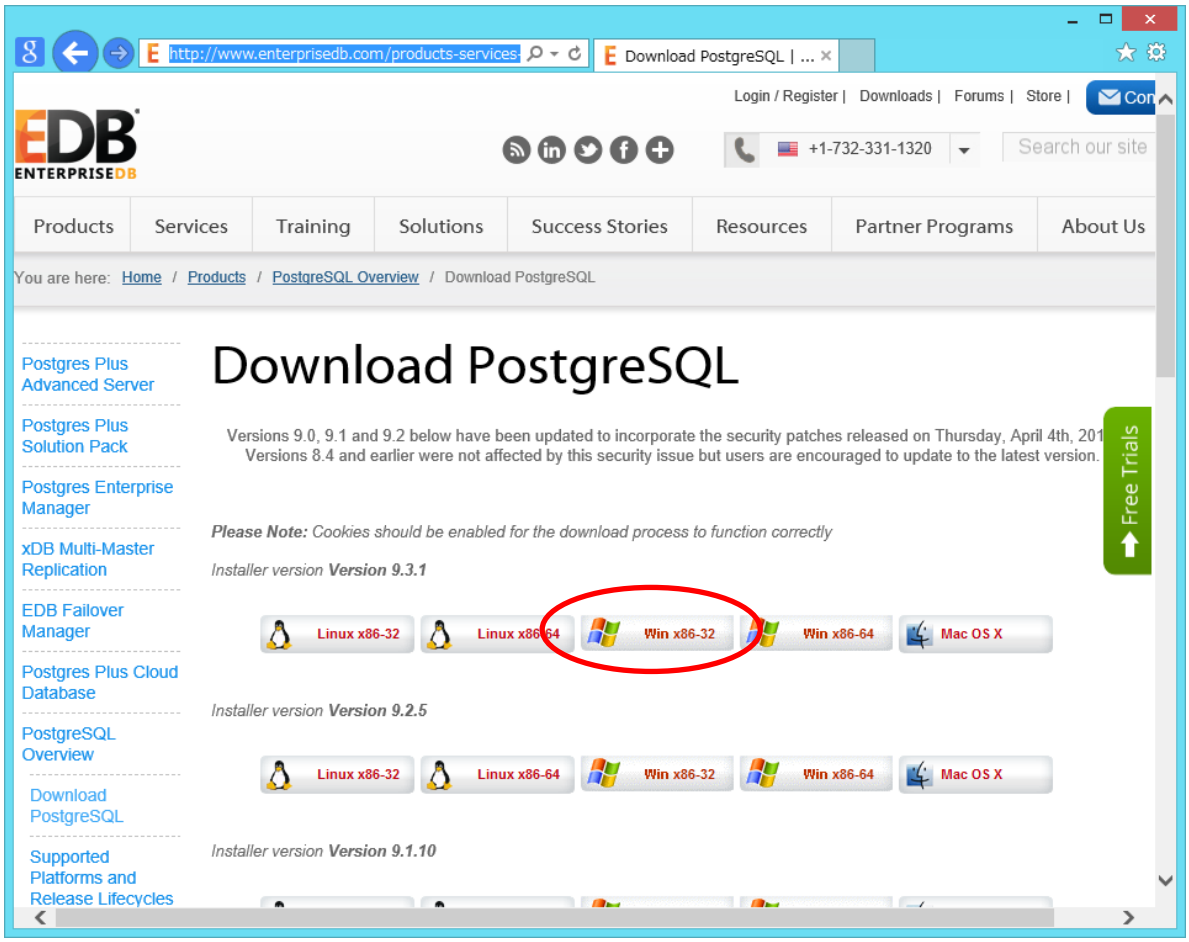
□ サーバー側設定

1．以下の URL から PostgreSQL をダウンロードしてください。

サーバーの OS に係らず 32bit 版を選択してください。

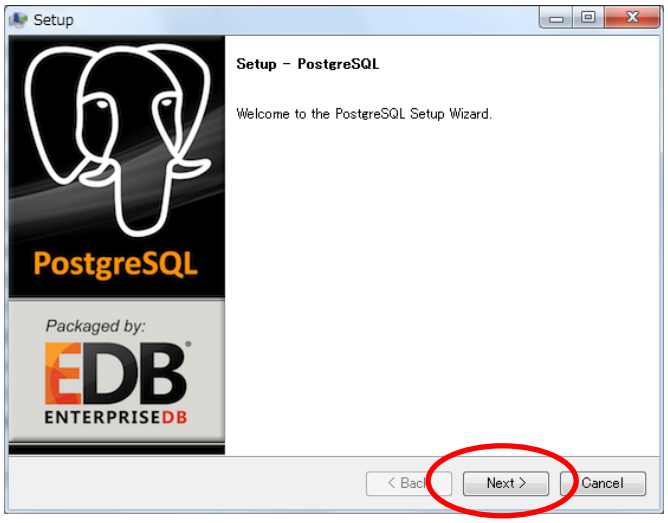
今回、例としてダウンロードするバージョンは「Version 9.3.1」の「Win x86-32」です。

http://www.enterprisedb.com/products-services-training/pgdownload



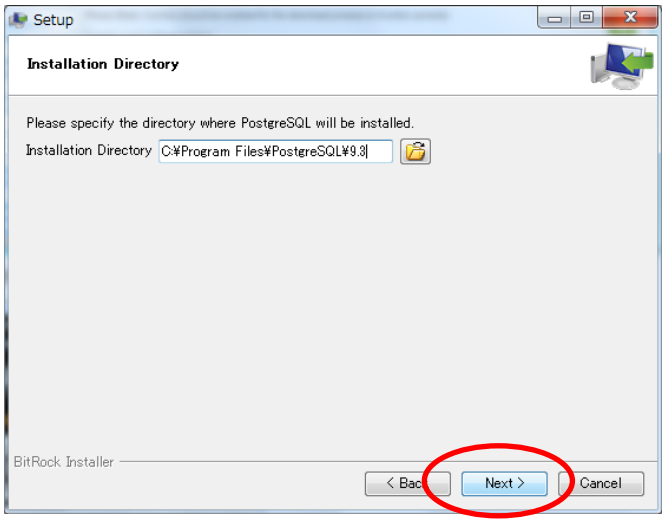
2．ダウンロードした「postgresql-9.3.1-1-windows.exe」を実行します。

「Next」クリック

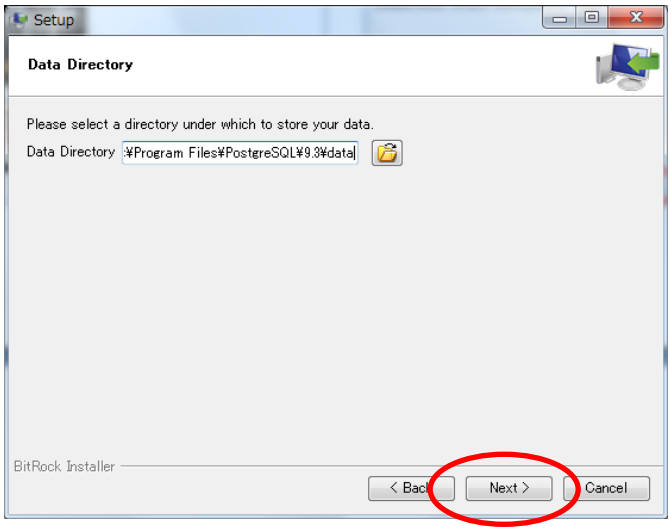


→

「Next」クリック



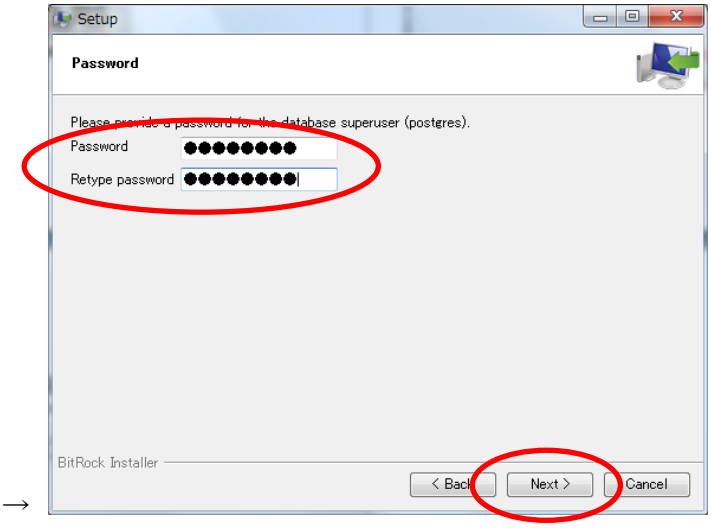
「Next」クリック



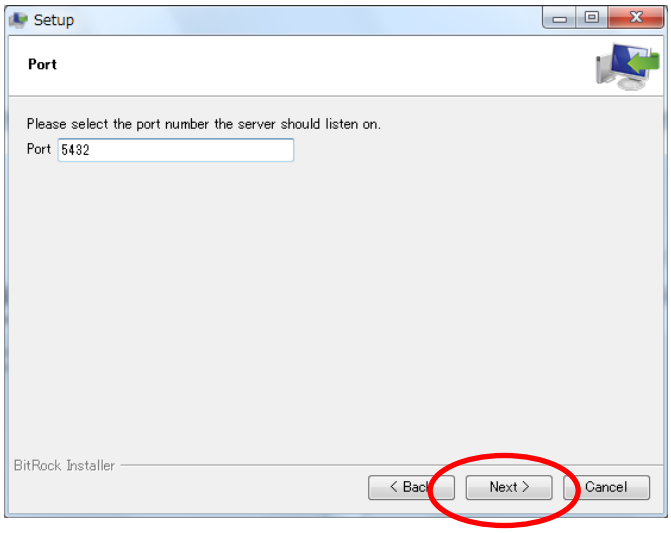
→

Password に「postgres」と入力し「Next」クリック

「postgres」は例です。任意での設定で問題ありません。

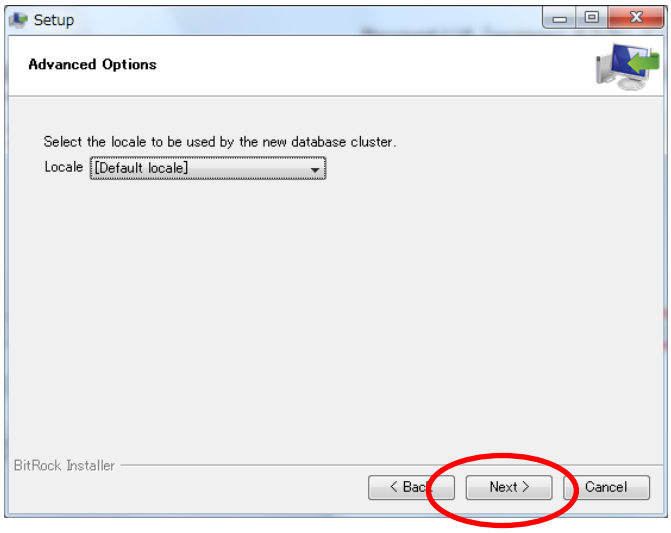


「Next」クリック

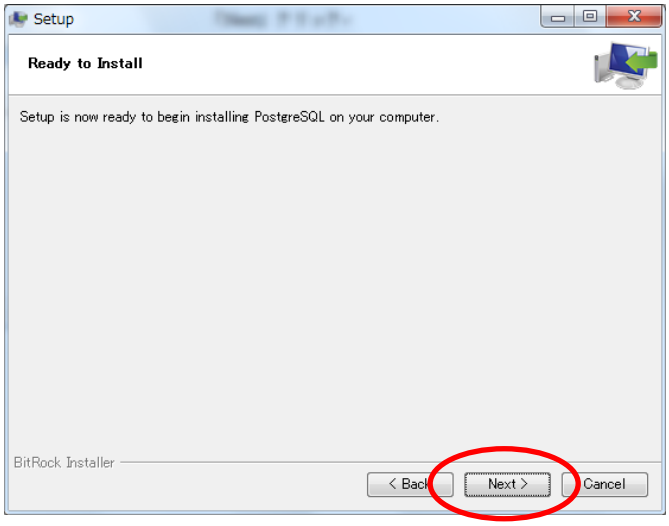


→

「Next」クリック



「Next」クリック

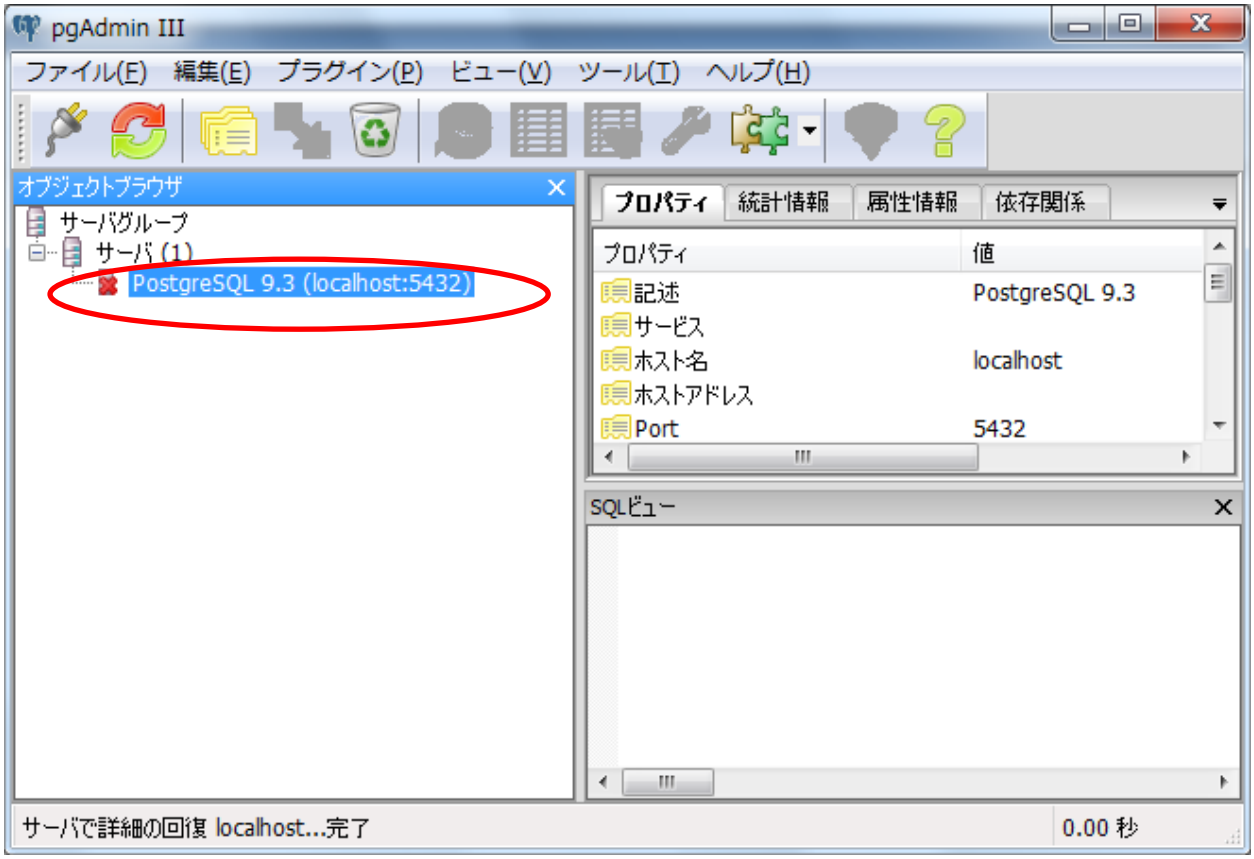


→

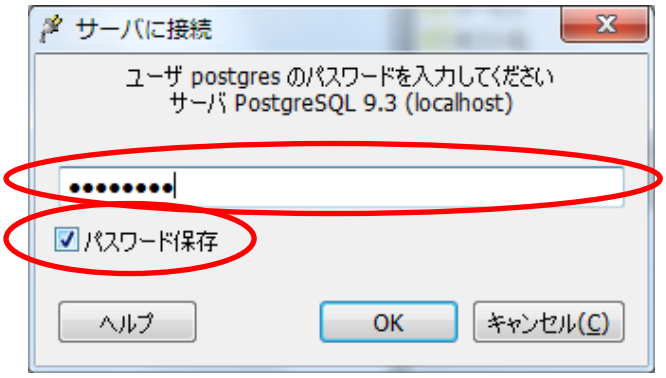
インストールが終了したら下記画面が表示されます

チェックボックスのチェックを外して「Finish」

3．「スタート」ボタン　→　すべてのプログラム　→　PostgreSQL 9.3 → pgAdminⅢ　を起動し、
　×となっている PostgreSQL9.3 をダブルクリックします。



※サーバーグループにインストールした PostgreSQL 9.3 が表示されない場合は
　ファイル　→　サーバーの追加　より追加してください。

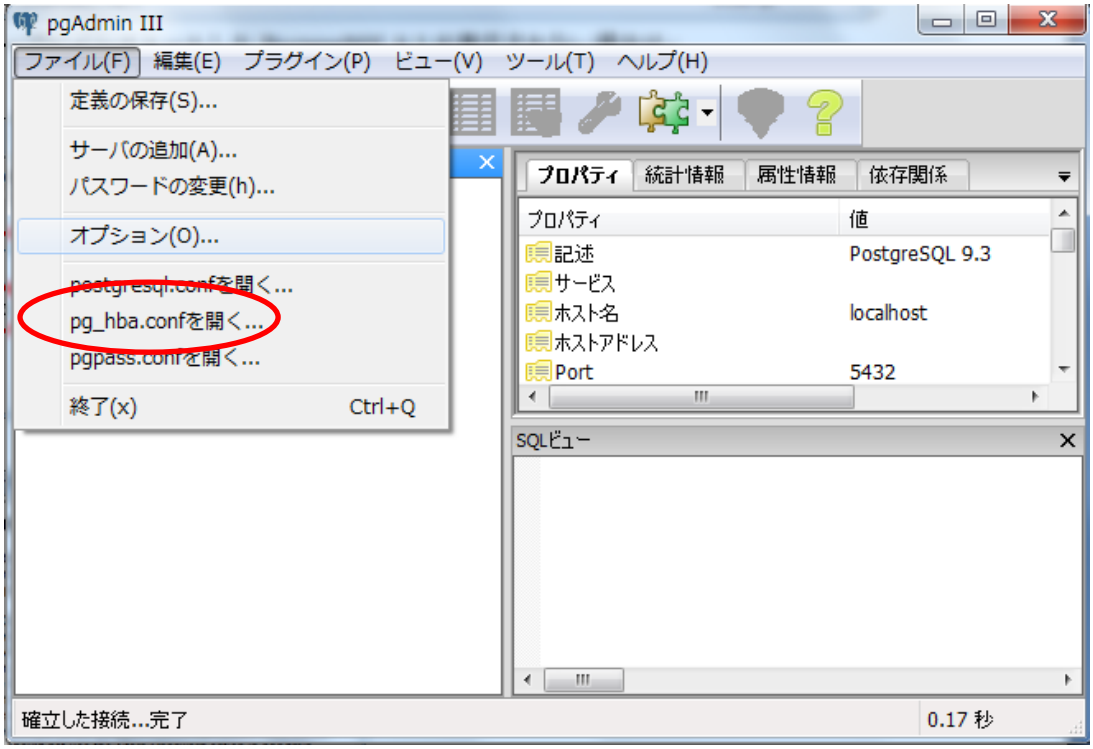


左記画面が表示されたらパスワード「postgres」を入力し「パスワード保存」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。

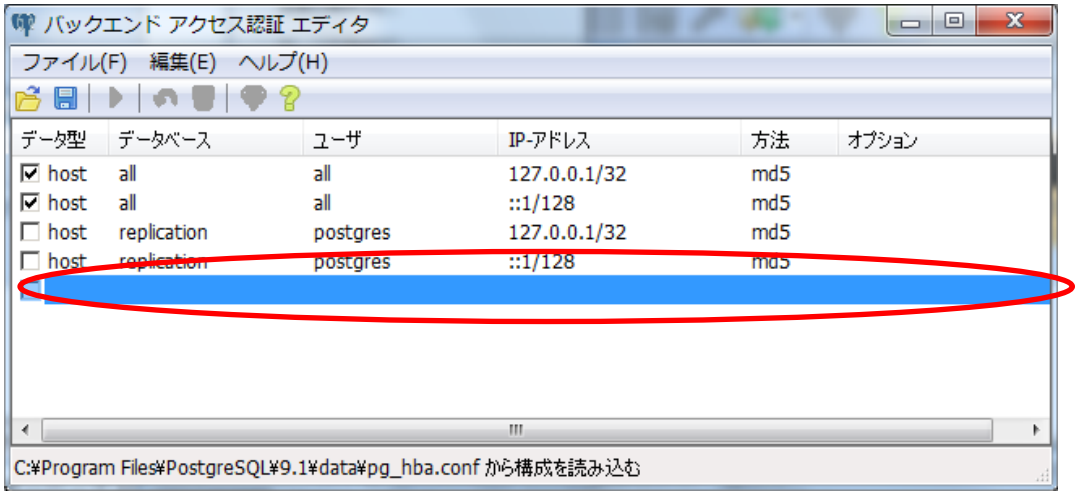
「postgres」は例です。任意で設定した場合はそのパスワードを入力してください。

「OK」クリック

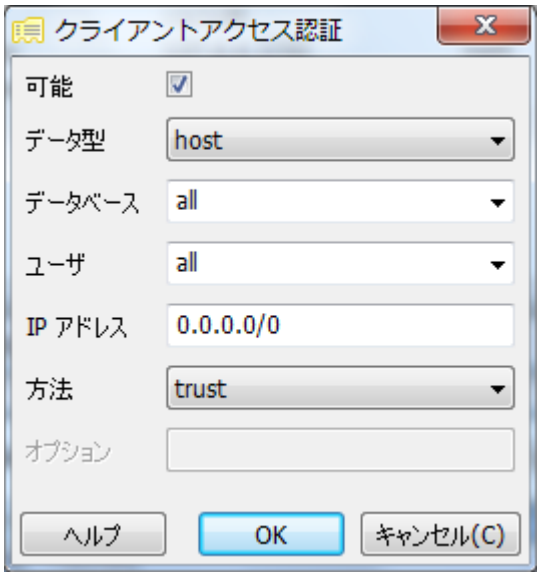
ファイル　→　pg_hba.conf を開く



C:¥Program Files¥PostgreSQL¥9.3¥data　内にある　「pg_hba.conf」を指定します。

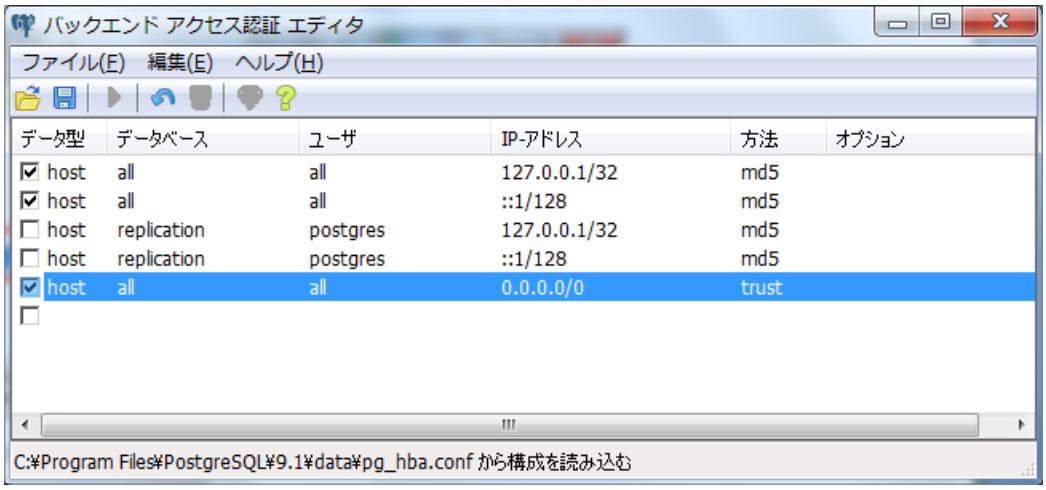


上の画面が表示されたら赤丸部分をダブルクリック



左の画面が表示されますので
画面の通り入力して「OK」ボタンをクリックします。

本説明では全ての接続を受け入れます。
本来は IP アドレスなどを指定し管理する方法が正式です。
環境に応じて設定・管理をお勧めします。



今、設定した情報が追加されたことを確認し、

ファイル　→　保存　をクリックします。

これでサーバー側の設定は終了です。

pgAdminⅢを終了して一度サーバーを再起動してください。

※上記ではサーバーのファイアウォールのポート解放は行っておりません。必要に応じて設定してください。

□　クライアント側設定

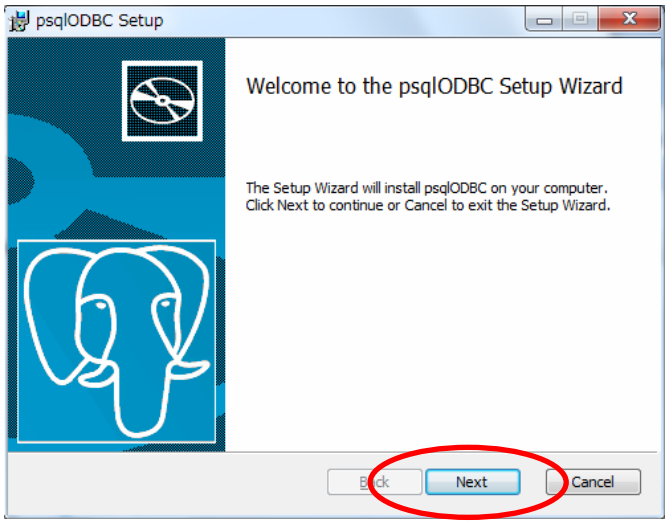
1．以下の URL から ODBC ドライバをダウンロードしてください。

http://www.postgresql.org/ftp/odbc/versions/msi/

クライアントの OS やバージョンにより適当なものをダウンロードしてください。

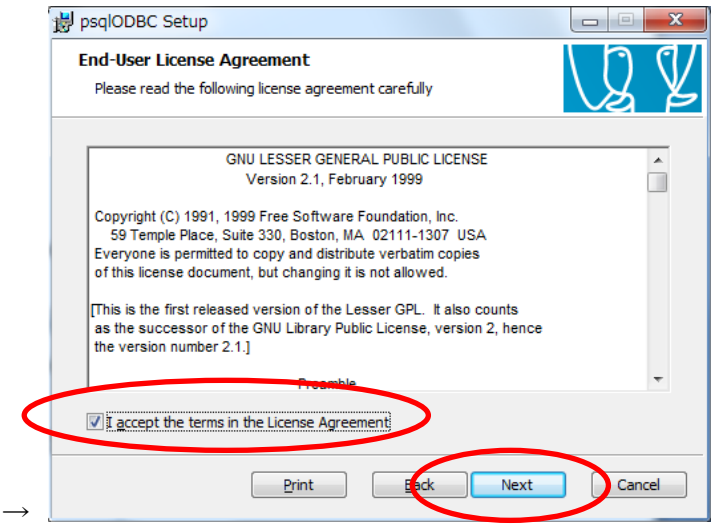
2．解凍後、クライアント側パソコンで「Psqlodbc.exe」を実行します。

「Next」クリック

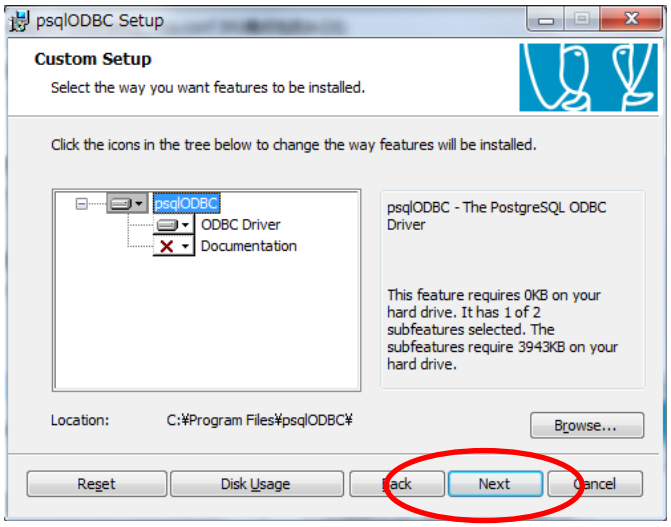


→

チェックボックスにチェックし「Next」クリック

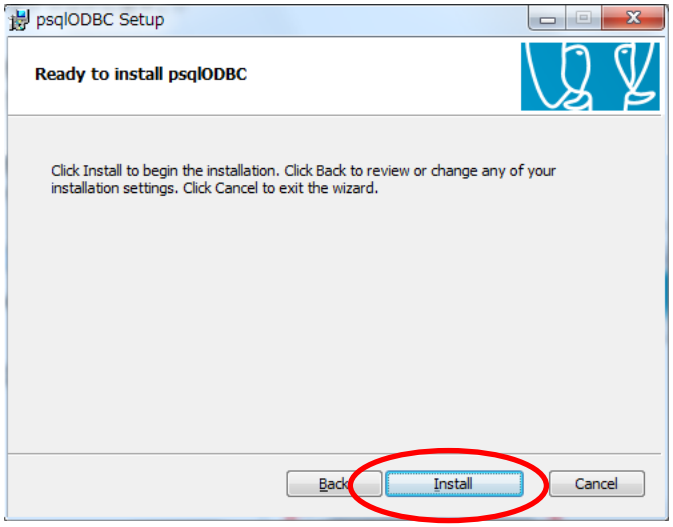


「Next」クリック

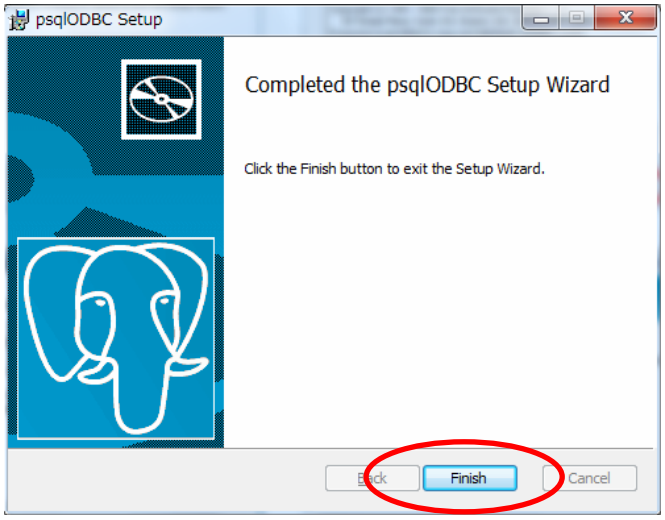


→

「Install」クリック

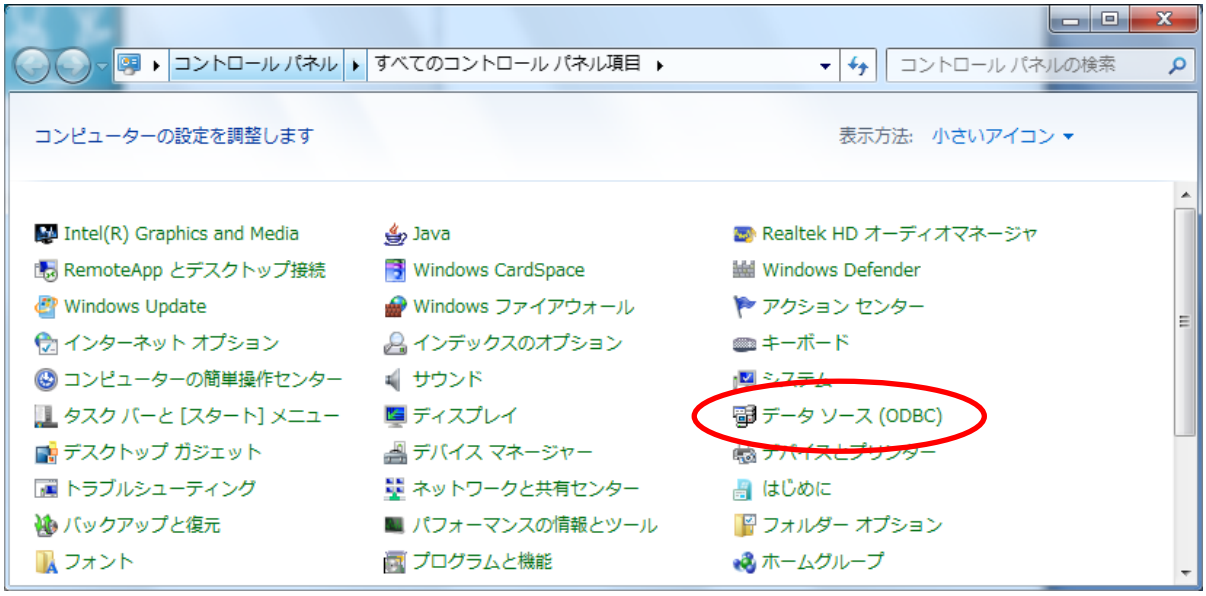


「Finish」クリック

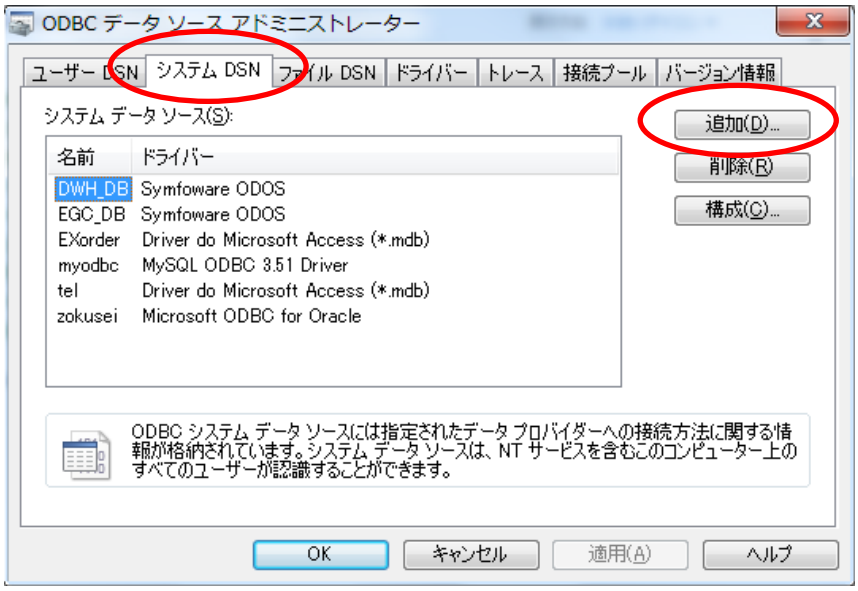


これで ODBC ドライバがインストールされました。

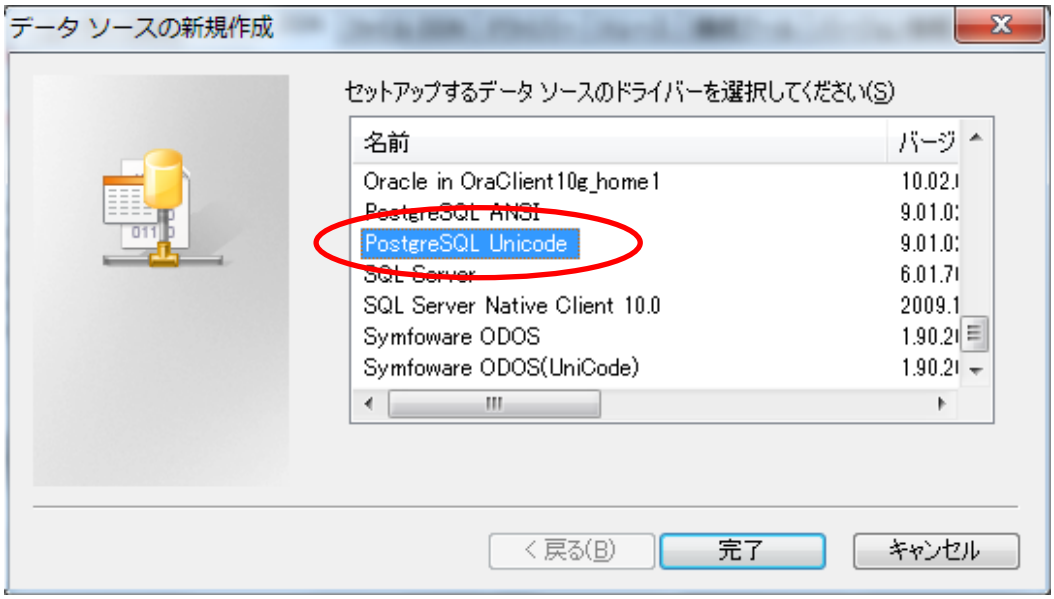
2．「スタート」ボタン　→　コントロールパネル　→　「データソース（ODBC)」を開きます。

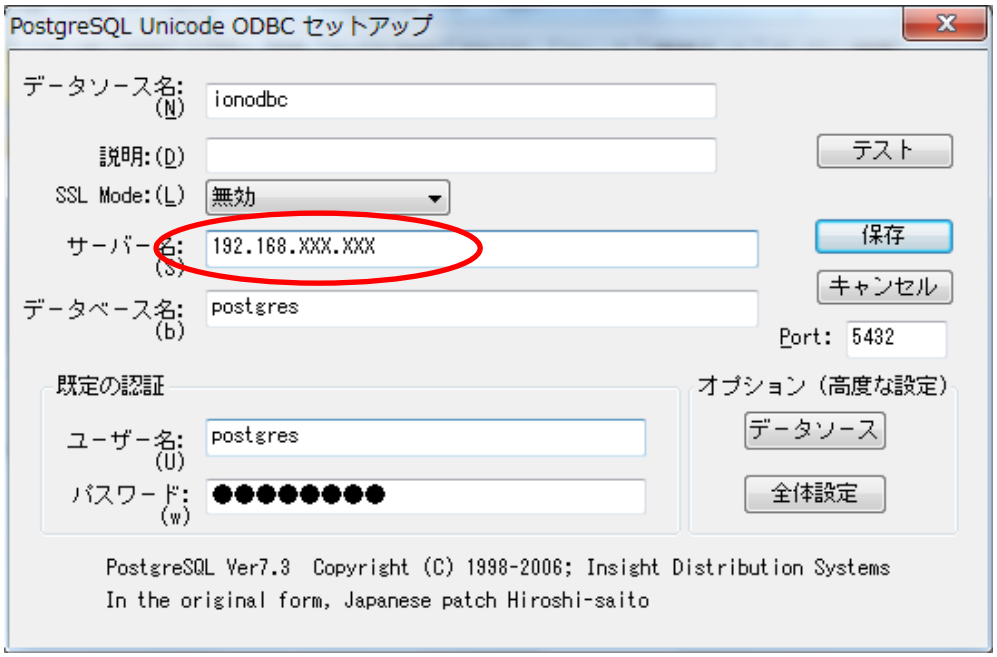


「システム DSN」タブを開き「追加」ボタンをクリックします。

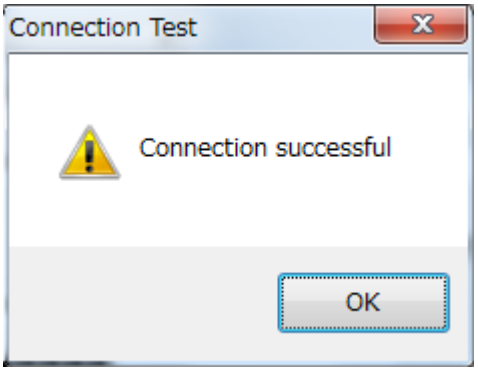


「PostgreSQL Unicode」を選択し「完了」クリック





データソース　「ionodbc」
サーバー名　※サーバーの IP アドレス
データベース名　「postgres」
ユーザー名　「postgres」
パスワード　「postgres」
パスワードは任意で設定した場合はそのパスワードを入力してください。



と入力後「テスト」ボタンをクリックし、
接続できるかテストを行います。
右の画面が表示されたら正常に接続できています。

「OK」ボタンをクリックし「保存」ボタンで保存して終了し、ODBC 設定画面を閉じます。
これでクライアント側 ODBC 設定は終了です。

以　上